AucSale

Veritile

VCS-2200

トリプルフィルターサイクロン式掃除機

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書には重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。
必ずよくお読みのうえ製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管してください。



記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

 ※本書内容については、将来予告なしに変更される場合があります。 ※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。 ※当社では常に製品の改善を行なっており、お客様のお買上げ時期によっては、同一製品の中にも多少差が生じる場合がありますが、ご了承ください。

守ってください

◉ 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。

◉ エアータービンブラシ、ホース、パイプなどを詰まらせるビニール袋、ラップ類を吸わせないでください。

◉ 回転している状態のエアータービンブラシ底面回転部には絶対に触れないでください。大変に危険です。
指や体の一部が触れると怪我の原因になります。

◉ エアータービンブラシを強く押し付けないでください。
床、たたみ、家具、壁の傷つきの原因になります。ハンドルに力を入れず、軽くすべらせるように操作してください。

◉ 必ずエアータービンブラシ、もしくはノズルを取付けてお使いください。
パイプ、ホースの先端でお掃除をすると床や家具などを傷めます。

◉ 水などの液体、砂、泥、石、細かい粒子の粉末などを吸わせないでください。
フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

◉ 屋外では使用しないでください。
故障の原因になります。

◉ 持ち運びの際は、必ずキャリーハンドルを持ってください。
延長パイプやホースを持つと、落下や破損、けがの原因になります。

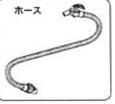
◉ ダストカップ、フィルター類はこまめにお手入れをしてください。
お手入れをおこたると故障の原因になります。お手入れ方法、注意事項を必ずお読みください。

付属品

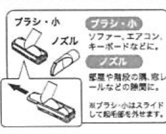
本体のほかに下記の付属品があります。



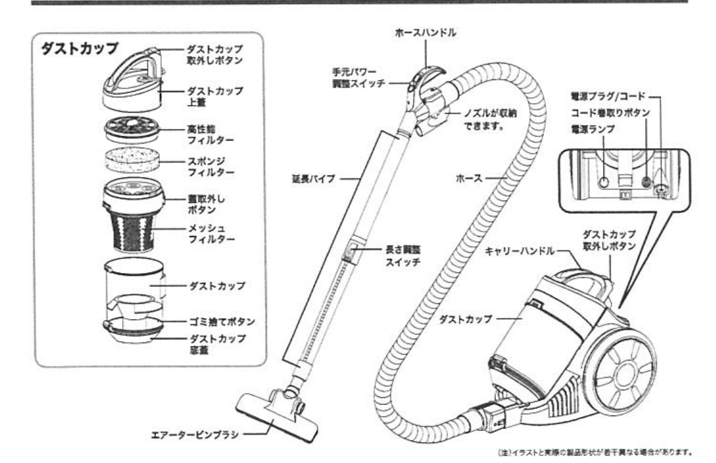






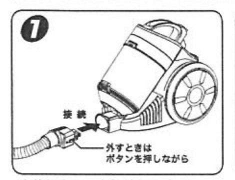


各部名称

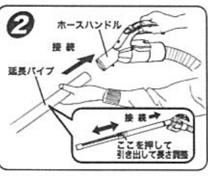


(注)イラストと実際の製品形状が若干異なる場合があります。

使用方法



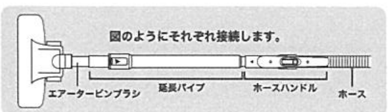
本体にホースを接続します。
接続を外すときは、ボタンを押しながら抜きます。

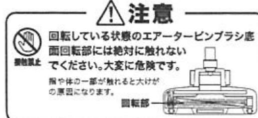


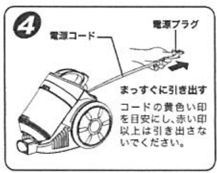
延長パイプをホースハンドルに接続します。



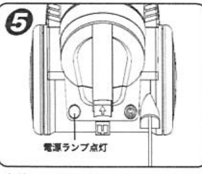
エアータービンブラシを取付けます。



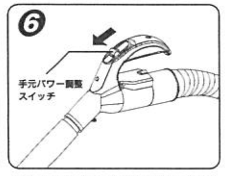




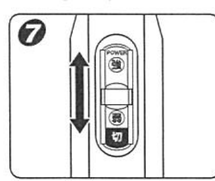
ホースハンドルの手元パワー調整スイッチが「切」の位置にあることを確認した後、電源コードを引き出して電源プラグをコンセントに差し込みます。



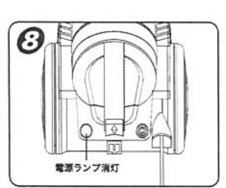
本体のメイン電源が ON になり、電源ランプが点灯します。



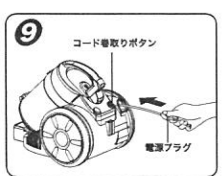
ホースハンドルの手元パワー調整スイッチを「切」の位置からスライドします。運転が開始されます。



お掃除の種類によってパワーを調整してください。運転を停止するときは「切」の位置へ合わせます。
じゅうたんなどでエアータービンブラシ操作が重くスムーズでない場合はパワーを弱めてください。



電源プラグをコンセントから抜きます。メイン電源が OFF になり、電源ランプが消灯します。



コード巻取りボタンを押して電源コードを収納します。
必ず電源プラグを持ってから巻取りをしてください。コード全部が巻取りされなかった場合は、2m ほど引き出し、再度ボタンを押して巻取りしてください。

ダストカップからゴミを捨てる



安全のために、ダストカップからゴミを捨てる際には、必ず電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

ダストカップの「ゴミすてライン」以上までゴミを溜めないようにしてください。
お掃除が終わったら、ダストカップからゴミを捨ててください。

「ゴミすてライン」を越えると吸込力が低下してしまいます。また、ゴミはこまめに捨ててください。

ゴミすてライン

ゴミすて









❶ **ダストカップ取外しボタンを押しながらダストカップを本体から取外します。**
ボタンを押さずに無理に取外さないようにしてください。

❷ **カップのハンドルを持ってゴミ捨てボタンを押します。底蓋が開き、ゴミを落とすことができます。**
カップの側面を軽くたたいて中のゴミを落とします。ボタンを押さないと底蓋は開きません。無理に開けないでください。

❸ **カップの底蓋を手動で閉めます。**
カチッと音がするまでしっかりと閉めてください(ゴミ捨てボタンを押しても蓋は閉まりません)。

❹ **ダストカップを取外しボタンを押しながら本体にセットします。**

本体運転中にダストカップを取外さないでください。

ダストカップの蓋を取る/取付ける

蓋を外す

蓋取外し
ボタン

蓋を取付ける

押しながら
閉める

凸部

溝

蓋を外す

左図のボタンを押しながら外します。

蓋を取付ける

最初にカップの溝に蓋の凸部をはめ込み、ボタンを押しながら蓋をしっかり取付けます。

掃除機本体にカップをセットする前に、蓋がしっかりと取付けられているか確認してください。

メッシュフィルター・高性能フィルター・スポンジフィルターのゴミを取る

目詰まりによる吸込力低下をふせぐため、メッシュフィルターと高性能フィルター、スポンジフィルターのゴミを取り除きます。



高性能フィルターとスポンジフィルターはカップ上蓋とフィルターケースの間にあります(取外し方→P.5)。

メッシュフィルター / 高性能フィルター

メッシュフィルター、高性能フィルターはプラスチック部分を軽く叩き、表裏のミゾに付着している、ごみ・ほこり・汚れを取り除きます。

スポンジフィルター

スポンジフィルターも、表裏に付着している、ごみ・ほこり・汚れを取り除きます。

安全に関するご注意

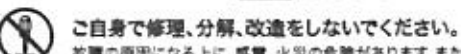
本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。
よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

ご使用の前に、必ずお読みください。

⚠警告	この項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この項目は、「人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
禁止マーク	この表示の項目は、してはいけない「禁止」内容です。
強制マーク	この表示の項目は、必ず実行していただく「強制」内容です。

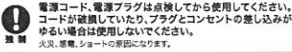


⚠警告



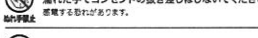
分解禁止　**ご自身で修理、分解、改造をしないでください。**
故障の原因になる上に、感電、火災の危険があります。また、分解した部品による特に小さなお子様の誤飲の危険があります。絶対にしないでください。

強制　**電源コード、電源プラグは点検してから使用してください。コードが破損していたり、プラグとコンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。**
火災、感電、ショートの原因になります。



ぬれ手禁止　**濡れた手でコンセントの抜き差しはしないでください。**
感電する恐れがあります。

禁止　**電源プラグはコンセントへ確実に差し込んでください。**
感電、火災の危険があります。



強制　**定格15A以上、交流100Vの家庭用コンセントにおいて単独で使用してください。また延長コード使用の際も15Aのものを単独で使用してください。**
火災、感電、ショートの原因になります。また、たこ足配線にすると延長コードが過熱・劣化し、火災の原因になります。

強制　**お子様やお体の不自由な方が使用される場合、必ず保護者の方が付き添って管理監督した上で使用してください。**
けがや感電する恐れがあります。

禁止　**お子様が本製品で遊ばないよう、管理監督してください。**
けがや感電する恐れがあります。

禁止　**電源コードを首にかけてふざけたり遊んだりしないでください。**
小さなお子様がコードで遊ばないように注意してください。窒息事故の危険があります。

禁止　**電源コードを引っ張ったり、上にものを載せたりしないでください。**
コードが破損し、火災、感電の原因になります。

接触禁止　**回転している状態のエアータービンブラシ底面回転部には絶対に触れないでください。大変に危険です。**
指や体の一部が触れると大けがの原因になります。

水ぬれ禁止　**水気のある場所(風呂場などの水まわり)での使用や、水をかけたり濡らしたりしないでください。**
内部に水が入ると感電、故障する恐れがあります。

禁止　**ダストカップ、カップ上蓋、高性能フィルター、スポンジフィルター、メッシュフィルター、エアータービンブラシの回転ブラシ部以外は水洗いしないでください。**
故障、感電する場合があります。

禁止　**水や、シンナー、ガソリン、灯油、タバコ、マッチなどの引火性・火気のあるもの、カミソリの刃、画鋲、針、ガラスの破片などの危険物を吸い込ませないでください。**
火災、引火、けが、故障の原因になります。

禁止　**電源プラグやコンセントにほこりがついた状態で使用しないでください。**
火災、発火の原因になります。

火気禁止　**ストーブなどの火気のまわりで使用しないでください。**
排気風で炎があおられたりする場合があり、やけどや火災の原因になります。また、製品の変形でショートの原因になります。

⚠注意

禁止　**吸込口を塞いだ状態で長時間継続運転させないでください。**
加熱、発火の原因になります。

強制　**ダストカップ、フィルター類は、記載の方法でこまめにお手入れをしてください。**
お手入れをおこたると故障の原因になります。

禁止　**製品を落としたり、叩いたり、上に乗ったりなど乱暴に扱わないでください。また、製品の可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、無理な力を加えないでください。**
故障や破損、けがの原因になります。

強制　**コンセントから電源プラグを抜くときは電源プラグを持って引き抜いてください。**
電源コードを引っ張らないでください。感電、発火破損の原因になります。

電源プラグを抜く　**使用時以外にコンセントに接続しつづけないでください。**
感電、漏電、火災の原因になります。使用を終えたら接続を外してください。

電源プラグを抜く　**お手入れの際には、必ず電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電、けがの原因になります。

強制　**電源コードの本体巻取りは電源プラグを持った状態で行ってください。**
巻取りの際の電源プラグの跳ね上がりでけがをしたり家具などの破損の原因になります。

禁止　**排気口を塞がないでください。**
発熱、火災の原因になります。

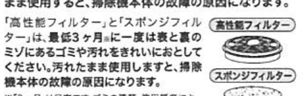
禁止　**シンナー、アルコール、ベンジンなど、引火性のある化学薬品のそばでは使用しないでください。また、製品のお手入れの際にも使用しないでください。**
火災や発火、爆発の危険があります。また化学変化による変質、変形、破損の原因になります。

お手入れのしかた

⚠注意

ダストカップ、フィルター類はこまめにお手入れをしてください。**特に、「高性能フィルター」と「スポンジフィルター」は表裏のミゾに、ごみ・ほこり・汚れがたまったまま使用すると、掃除機本体の故障の原因になります。**

「高性能フィルター」と「スポンジフィルター」は、**最低3ヶ月※に一度は表と裏のミゾにあるゴミや汚れをきれいにおとしてください。汚れたまま使用しますと、掃除機本体の故障の原因になります。**



※「3ヶ月」は目安です。ゴミの種類、使用頻度によって、お手入れをする頻度は異なります。

強制　お手入れの際には、必ず電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止　ダストカップ、カップ上蓋、高性能フィルター、スポンジフィルター、メッシュフィルター、エアータービンブラシの回転ブラシ部以外は水洗いしないでください。感電したり故障する場合があります。



禁止　お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。

本体・付属品のお手入れ

布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。

フィルター類のお手入れ

以下の方法でお手入れしてください。

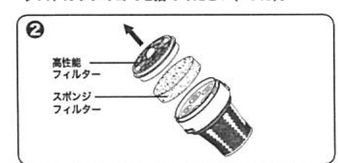
ダストカップ、フィルター類を水洗いする



上図のものは水洗いすることができます。
それ以外のものは水洗いしないでください。
ダストカップのゴミを捨ててください(→P.3)。

❶
ダストカップ上蓋
回す
メッシュフィルター

矢印が図の位置になるようにダストカップ上蓋を左回りに回転させて、メッシュフィルターから取外します。



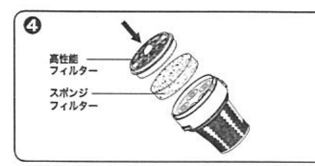
メッシュフィルターから高性能フィルターとスポンジフィルターを取外します。
高性能フィルターは中心のつまみを持って取外します。



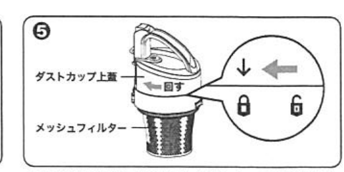
水で洗い、水気を拭き取り、充分に乾燥させます。
ダストカップ、ダストカップ上蓋、スポンジフィルターは流水で水洗いします。高性能フィルター、メッシュフィルターは洗い桶に水を溜め、その中で揺すり洗いします。その後柔らかい布などでやさしく水気を拭き取り、充分に乾燥させます。

【水洗いの注意】

- ◎ **乾燥は充分に行ってください。濡れたままの状態で使用しないでください。**
- ◎ **洗剤、漂白剤、35度以上のお湯で洗わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。**
  変形、変質、破損します。
- ◎ **ブラシを使用して洗わないでください。**
  フィルターが破れたり破損したりします。
- ◎ **乾燥機、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。**
  変形、破損します。

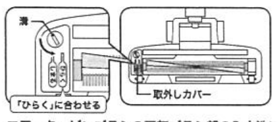


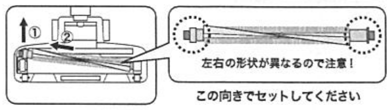
充分に乾燥させ、メッシュフィルターに高性能フィルターとスポンジフィルターを取付けます。



矢印が図の位置になるようにダストカップ上蓋を右回りに回転させて、メッシュフィルターに取付けます。

エアータービンブラシのお手入れ





この向きでセットしてください

エアータービンブラシの回転ブラシ部のみ水洗いできます。 **エアータービンブラシ本体は水洗いしないでください**

❶「取外しカバー」の溝をコインなどで「ひらく」に合わせ、カバーを外します。

❷ 回転ブラシ部を①のように上方向に引き上げ、②の方向に引き抜きます。

❸ 回転ブラシ部を水洗いし、陰干しして充分に乾燥させます。

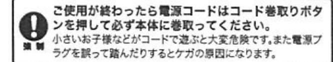
❹ 取り外したときの逆手順でブラシをセットし、「取外しカバー」をぴったりと閉めます。最後に溝を「しまる」に合わせます。

エアータービンブラシ本体と取外しカバーの間にすき間があるとブラシは回転しませんのでしっかりとセットしてください。

毛や糸くずなどが回転ブラシ部にからまっている場合ははさみなどで取り除いてください。

収納のしかた

強制 **安全のためにご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。**



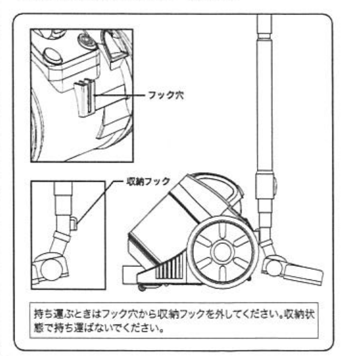
強制 **ご使用が終わったら電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。**
小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとケガの原因になります。

強制 **電源コードの本体巻取りはプラグを持った状態で行ってください。**
巻取り時、電源プラグの跳ね上がりでけがをしたり家具などの破損の原因になります。

持ち運ぶときには必ずキャリーハンドルを持ってください。
ホースでぶらさげたりして持ち運ばないでください。



パイプの収納フックを本体のフック穴に差し込みます。その後安全な場所に収納してください。



持ち運ぶときはフック穴から収納フックを外してください。収納状態で持ち運ばないでください。

お問い合わせの前に

故障かな？と思ったら、もう一度点検・確認してみましょう。

症　状	点　検　す　る　と　こ　ろ	解　決　す　る
運転しない	コンセントに電源プラグが正しく接続されいるか。	電源プラグをしっかりと再接続する。 手元パワー調整スイッチを再度運転方向にスライドさせる。
吸込力が弱い	エアータービンブラシ、パイプ、ホースに何かが詰まっていないか。	エアータービンブラシ、パイプ、ホースを外して中を点検し、詰まっているものを取り除く。
	ダストカップに「ゴミすてライン」以上にゴミがないか。	ダストカップのゴミを捨てる。
	フィルター類にゴミやほこりが溜まっていないか。	フィルターのお手入れをする。
	ダストカップの蓋がきちんと閉まっているか。	一度本体からダストカップを外し、蓋の状態を確認する。
電源コードが全て巻取りきれない。	巻取りの状態が曲がっていたり、一カ所に片寄ったりしている可能性がある。	電源コードを2mほど引き出し、再度巻取りボタンを押して巻込みをする。
電源コードが引き出せない。	巻取りの状態が曲がっていたり、一カ所に片寄ったりしている可能性がある。	巻取りボタンを押しながら、少しずつの長さで巻取りと引き出しを交互に行う。 ※ 無理に引っ張らないでください。

仕　様

吸込仕事率	180W	集塵容積	0.5L(ゴミ捨てラインまで)、0.8L(最大容量)
運転音	73dB	電源コード長さ	4.5m
本体寸法	約 22cm(幅) × 30.5cm(奥行) × 25.8cm(高さ)	電　源	AC100V (50Hz/60Hz共用)
重量	4.8Kg (重量1)　3.4Kg (重量2)	消費電力	最大1000W

(重量1)：掃除機本体、ホース、延長パイプ、エアータービンブラシ込み　(重量2)：掃除機本体のみ

セット内容　掃除機本体、エアータービンブラシ(1個)、ブラシ・小(1個)、ノズル(1個)、延長パイプ(1本)、ホース(1本)、高性能フィルター/スポンジフィルター(本体セット済み各1個/スペア各1個)、取扱説明書(本書)、保証書

アフターサービス

◎ 保証書の記入事項

本製品には、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より「購入日」と「販売店印」欄などの記入をお受けください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。)

◎ 修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「お問い合わせの前に」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはサポートセンターまでご相談ください。

本製品に関するお問い合わせ、およびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。